

植物ゲノム・遺伝子源解析センター

月例セミナー

とき 平成25年5月17日(金)
16時～17時
ところ 農学部 DS304講義室

題目

「シクラメンの花色発現機構と青花品種の育種について」

講師

農学部教授 高村 武二郎 博士

概略

花色は多くの花きにとって最重要形質であり、冬の代表的な鉢花であるシクラメン (*Cyclamen persicum* Mill.) においても例外ではない。花色に影響を及ぼす植物生体内または生体外の諸要因として花色素生成関連遺伝子の発現、細胞内のpH、生育時の光や温度などが挙げられる。これらの諸要因が花色発現を制御するメカニズムを明らかにすることができれば、遺伝子組換え等の利用を含む花き育種の進展と高品質花きの安定生産技術の開発に寄与するものと期待されるが、シクラメンにおいては不明な点が多く残されている。

演者らは、シクラメンの花色発現のメカニズムおよびその遺伝様式について研究を行っており、これまでに、黄色花や色変わり花、複色花などの発現機構を明らかにしてきた。今回は、近年まで見られなかった緑色花の発現機構について解説するとともに、最近発見された青紫色花シクラメン系統の花弁青色化機構の解明とそれを利用した青花シクラメン品種育成について紹介する。

主催：香川大学農学部 植物ゲノム・遺伝子源解析センター

(<http://www.ag.kagawa-u.ac.jp/phytogene/index.html>)